

高速道路の安全性向上・機能強化と 生産性向上に向けたRIMS全体構想

～ RIMS(道路保全情報システム)の再構築 ～

2017年5月24日



道路保全情報システム（RIMS）の全体概要

1. 道路保全情報システム（RIMS）の目指す方向

高速道路インフラの老朽化により維持管理費の増大、技術者の不足等が懸念されており、維持管理の効率化、高度化が喫緊の課題となっている。

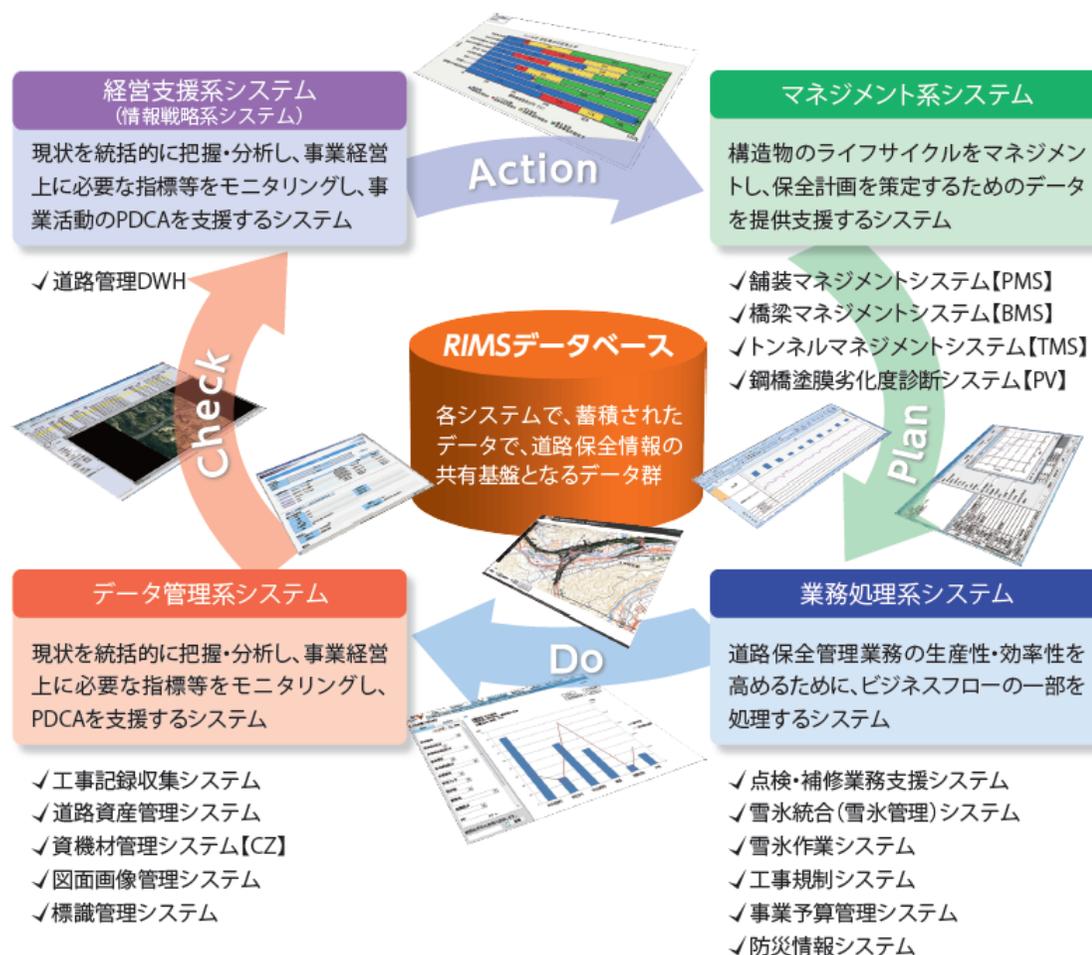
当社では、安全性の確保と信頼性、生産性の向上を目的に、最新ICT技術の導入により道路保全に関わる各種情報データを統合・共有化し、グループ全体での維持管理サイクルの効率化、高度化等、総合的な維持管理体制の構築を目指す。

2. RIMSの構成

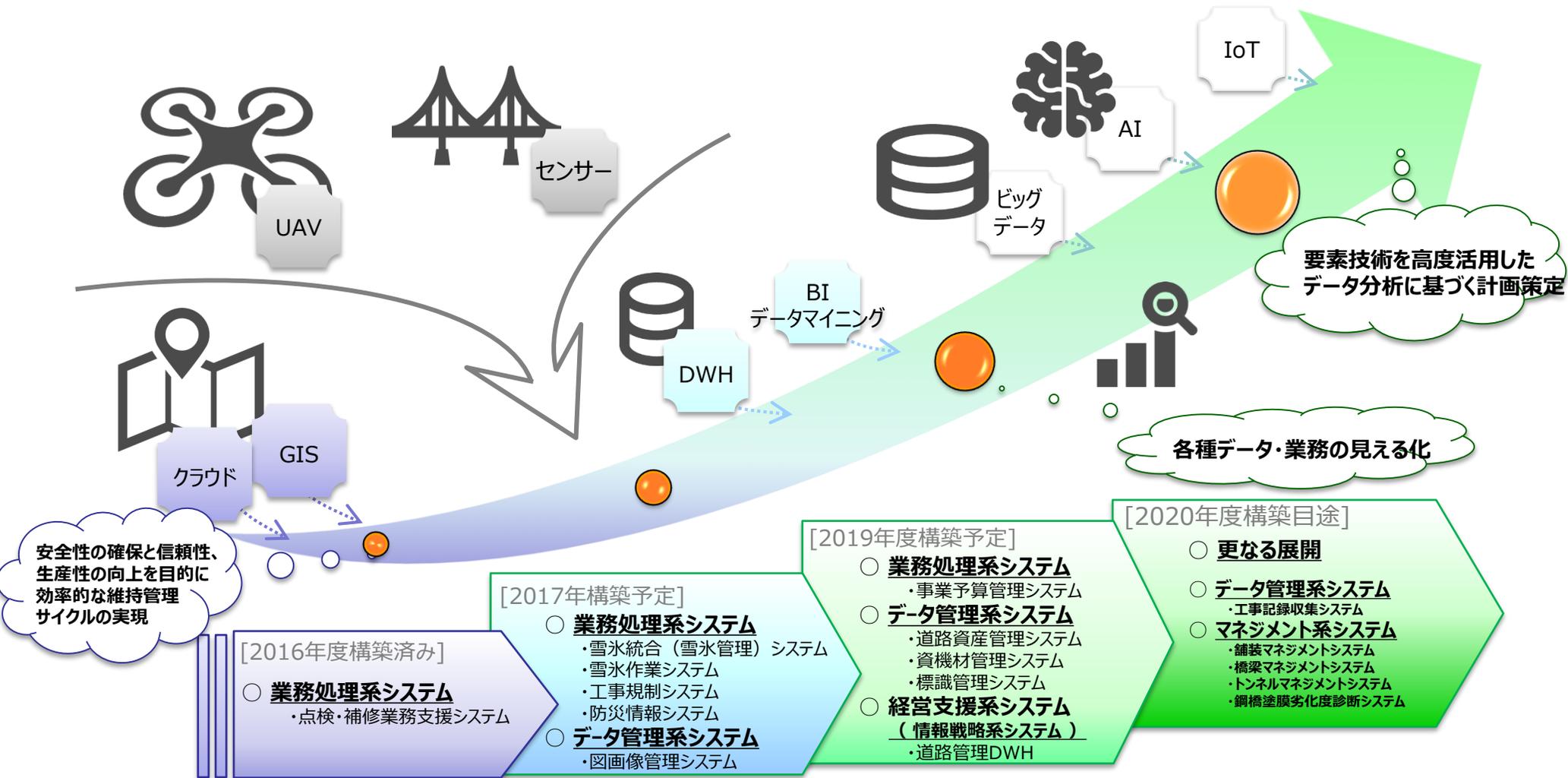
PDCAを推進すべく、4つのシステム群と1つのデータベースから構成

道路保全情報システム

(RIMS : Road Maintenance Information Management System)



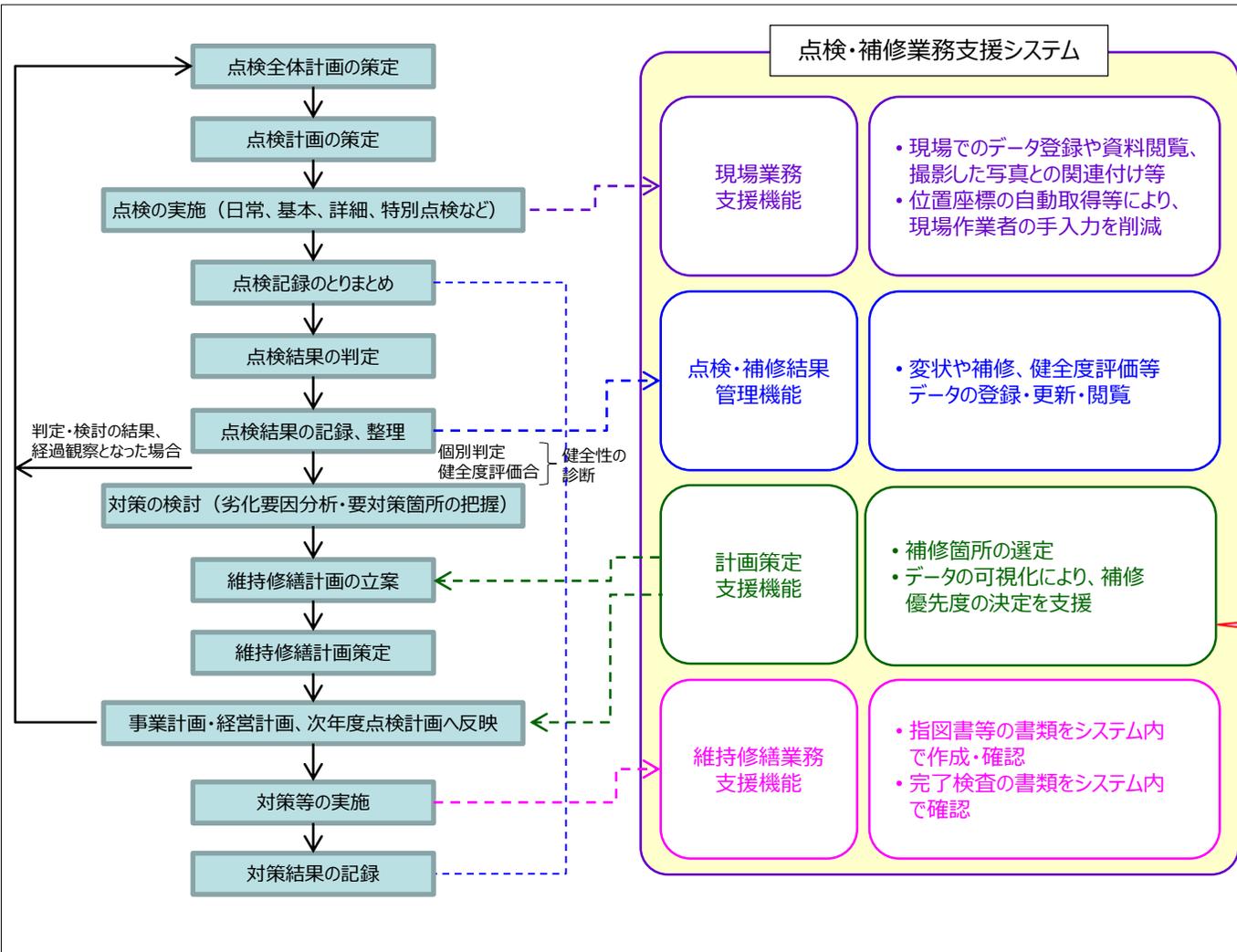
今後の総合的な維持管理体制の展望



UAV : [Unmanned Aerial Vehicle] 人間が乗らず、コンピュータによる自動操縦、もしくは遠隔操作で飛行する航空機。「ドローン」とも呼ばれる。
 GIS : [Geographic Information System : 地理情報システム] 地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術である。
 DWH : [data warehouse] 企業などの業務上発生した取引記録などのデータを時系列に保管したデータベース。また、そのようなシステムを構築・運用するためのソフトウェア。
 BI : [Business Intelligence] 業務システムなどから蓄積される企業内の膨大なデータを、蓄積・分析・加工して、企業的意思決定に活用しようとする手法
 データマイニング : [data mining] 情報システムに蓄積した巨大なデータの集合をコンピュータによって解析し、これまで知られていなかった規則性や傾向など、何らかの有用な知見を得ること。
 AI : [Artificial Intelligence] 人間の知的営みをコンピュータに行わせるための技術のこと、または人間の知的営みを行うことができるコンピュータプログラムのことである。

点検・補修業務支援システムの概要

点検・補修業務支援システムとは、高速道路の維持管理業務（点検～補修計画～補修実施～補修記録）において、点検・補修データの確実な記録や点検・補修計画策定における業務支援を目的としたシステム



点検・補修業務支援システムの再構築による主な効果

- 地図・GIS機能により位置情報の自動取得
- タブレットで撮影した写真等の登録により、点検結果の記録作業の効率化
- タブレットによる平面図等の確認
- 点検から補修までの一連の事務処理のシステム化による業務効率化

